

## 第6回地域連携パス運用会議 議事録

開催日時：平成19年7月20日（金）19：00～20：00

開催場所：岡山赤十字病院 センター棟4階研修室

出席者：岡山あさひ病院（柚木 Dr、井上 Ns、荒尾 PT）

岡山光南病院（鈴木 Dr、広金 Ns、松井 Ns、原田 PT、斉藤 MSW）

小林内科診療所（畑山 Ns、羽村 PT、小林、斉藤、永井 MSW）

竜操整形外科病院（紀村 Ns、稲岡 Ns、下村 PT、山下 PT、内田 MSW）

高梁中央病院（木村 MSW）

佐藤病院（赤木 Ns、篠原 PT、金光 PT）

藤田病院（小林 Ns、前谷 PT）

岡山中央奉還町病院（光森 Ns、岸本 Ns、金光 PT、宮島 OT、谷本 MSW）

岡山中央病院（太田 Ns、森本 Ns）

宿毛診療所（小林 PT）

玉野市民病院（槌田 Ns、佐藤 Ns、赤木 PT）

岡山医療センター（田淵 Ns、福島 Ns、安東 PT、神崎 MSW、木戸 MSW）

岡山労災病院（花川 Dr、近藤 Ns、石井 Ns、和田 PT、松下 MSW、末永 MSW）

岡山旭東病院（平野 Dr、湯浅 Ns、野間 OT、片岡 PT、細谷、片岡 MSW）

岡山赤十字病院玉野分院（武田 Ns）

岡山赤十字病院（那須 Dr、片岡 Dr、福力 Ns、本田 Ns、吉原 Ns、藤岡 Ns、  
石津 Ns、和田 Ns、石田 PT、小幡 PT、内藤 MSW） 計64名

### ① 新病院紹介

急性期病院：岡山旭東病院

### ② パス運用状況

片岡 Dr より当院のパス運用状況について報告（当日資料参照）。

### ③ 症例発表（光南病院松井氏より）

回復期リハビリ病棟の入院から退院までの流れ等について発表（当日資料参照）。

### ④ オーバービューパス作成について

今後治療はオーバービューパスに沿って行い、カルテ等は各病院の物を使用してもらうようにしていきたい。

### ⑤ 今後の運用会議開催について（片岡 Dr より）

急性期病院の参加追加にともない、今後運用会議の開催場所を管理病院で持ち回りとしてと提案。→賛成多数で決定。今後、岡山労災病院、岡山医療センター、岡山旭東病院、岡山赤十字病院で会議開催を持ち回りとする

### ⑥ 岡山旭東病院より

第24回地域連携カンファレンス（平成19年9月29日（土）14時～旭東病院開催）について紹介。資料配布。

### ⑦ 各職種ごとの討議 →別紙参照

### ⑧ 次回開催日：9月21日（金）19時～ 開催場所：岡山医療センター

（書記：内藤）

## 議事録（医師）

急性期病院：日赤、国立、旭東、労災が7月、9月、11月、1月の順で会議を開催する。  
市民病院や済生会にも声をかけてみる。

連携パスの内容は岡山市内で統一したものを使用する。頸部骨折の治療方針はもともとどこもほぼ同じであるのでスムーズに連携できる。

マニュアルとリハビリテーションパスや添書に禁忌肢位についての欄を付ける。

リハビリテーションについてマニュアルを作る。

急性期病院が多数参加するので規約とマニュアルを見直す。

高齢者の場合は施設も含めて退院後まで安心して過ごせるように計画するべき。

将来的には脳卒中も連携パスが使用されることが予測される。

## 議事録（看護師）

・回復期病院と急性期病院のつながりだけでなく、回復期病院同士でいろいろなことを尋ねたり、情報交換が出来るようになり、いろいろなことを教えてもらっているので連携の仲間入りが出来てよかった。  
玉野市民病院

・急患が多く、パスの日程通り手術にならないことが多い。どうしたらよいか？ 労災病院

A. 通常の看護記録に一時戻し、手術前日からパスへ戻して使用してもらえばいいです。

・夜間せん妄、認知症の人もパス使用しているのでしょうか？ 労災病院

A. はい。あまりに症状がひどく、詳細な記録が必要な場合はパス逸脱とし、通常の看護記録に戻しています。

・現在認知症患者のバリデーション療法について学習している。看護やリハビリを進める上で認知症患者の対応でこのようにしているという集団療法や個別療法があれば教えて欲しい。

岡山光南病院

A. 毎日（祝日以外）20～30分間集団でレクリエーションをしている（風船バレーや自己紹介など）。

日中刺激を与えるようにしており、その間は落ち着いて参加している認知症患者もいる。回想法の導入はしていない。

岡山中央奉還町病院

ボランティアにハンドセラピーをしてもらっている。

岡山光南病院

・初めて参加したがいろいろな病院の方から話が聞け、情報交換が出来た。連携について理解できてよかった。  
国立医療センター

・これからもお互いに仲間なので気楽に情報交換ができ、なんでも相談できる場にしていきたい。そして、患者さんのために良い看護へとつながっていくようにしましょう。

・OP後3日目に急性期病院ではご家族を交えて合同カンファレンスを実施しているので、連携先が紹介元の病院である時には、回復期病院のスタッフにも参加していただきたい。回復期でのカンファレンス実施時の時にも急性期病院に参加を今後呼びかけるようにしていきましょう。

岡山赤十字病院

### まとめ

どこの病院も地域連携室の中にMSWや看護師が一緒に入り、院内がまとまっており、横のつながりが出来ている様子である。今後脳卒中、糖尿病と連携パスが出来ると、院内がばらばらで活動することになり、地域連携について院内体制を検討してほしいと感じた。事務職が入り、院内のまとめ役がいないと、専門職としての仕事に専念できない。

## 議事録（リハビリ）

12月に集まりリハパスの検討をしたがオーバービューパスへの変更の予定もあったため、いまだ反映できていない。オーバービューパスへの移行はするが、リハパスは今までどおり使用することとなったため、今後、変更していきたいと考えている。

連携パスを用いて1年になるが、連携病院から何かあるか？

（特に意見がなかったため、転院人数の多い施設から意見を求める）

結果、連携としてはスムーズにリハビリも進行しているようであった。その中で、“12月の集まりでも検討したが、やはりできればもう少し詳細な患者情報があればと思う”“リハパスの内容に空欄が多い場合があるので、可能な限り埋めてほしい”などといった意見があった。

その他、新参加施設からはリハパスの使い方、本パスの内容確認などが質問としてあがった。いずれにしても、否定的な意見はなく、肯定的・建設的意見がほとんどであった。

## 議事録 (MSW)

連携パス運用開始から1年を振り返って・・・

(岡山中央奉還町病院) 整形医師が不在のため医療センターより定期的に来てもらっている。病院は岡山市中心部にあり、対象患者は南北エリア広い。転院についてはスムーズにしている。パスで受入れた患者についてトラブルあれば管理病院と連携をとりながらアドバイス等もらいたい。実際受入れた患者についてはパスどおりにしていない方もいる。今後管理病院増えればあらたな病院ともうまく連携とっていきたい。

(岡山光南病院) 転院時の情報は現在使用している情報提供書で十分である。受入れた患者については内科的に問題のある方が時々あり、経過がよくない。内科的問題を解決してから転院してきてほしい。

(小林内科診療所) 当初はパスの書式に戸惑うことも多かった。

(竜操整形外科病院) 転院はスムーズにしている。ただ、入院中に家族の意向が変わることもあり、それに対してうまく対応していきたい。

(高梁中央病院) 管理病院の追加に伴い、患者の退院情報を返送する際の窓口がばらばらだとわかりにくいので窓口の統一をしてもらいたい。

(玉野市民病院) 事前の情報提供を十分にしてほしい。今後の方針について家族へ十分 IC しておいてほしい。

(岡山労災病院) 転院までの時間が短期間なので、情報が十分ではないかも。前もって、転院先のその後の方針や、介護保険について十分な説明をしておきたい。

(岡山医療センター) 転院に際して、情報を十分伝えていきたい。家族の転院についての受け入れ、主治医の IC にも介入していきたい。

(岡山旭東病院) 整形患者は術後感染等の問題を合併すること多い。主治医の IC が不十分でトラブル起こることもあり。

### まとめ

MSW は管理病院でも連携病院でも転院時の窓口となるので、今後もしっかりコミュニケーションをとりながら連携をとっていきたい。MSW のみで集まって話し合う場も検討したい。1年間パス運用して情報提供については、共通の情報提供書書式を作りスムーズに使用できたように感じる。反省点としては、短期間の入院中に家族と今後の方針等が十分に話し合えていなかったことがあげられる。今後は将来的なことも含めた家族との面接をしっかりと行い、転院後もスムーズなパス運用が行えるようにしたい。また参加病院の増加に伴い事務的な作業が増えてきており、窓口の統一化、専従職員等の必要性も感じる。今後、他疾患の連携パスが導入されることも考えられ、院内の連携、組織化を十分行う必要がある。